

ホープみやぎ

～東日本大震災復興支援プロジェクト～

ニュースレター No.11
2016年 春号
塩釜聖書バプテスト教会



七ヶ浜コンサート(和歌山福音教会)



チャリティーコンサート
「ファミリークリスマス2015」



「マナの会」フラダンス in 巨理



巨理フラワーアレンジメント
(滝山聖書バプテスト教会)



ハワイアンレイ作り in 七ヶ浜
(モーガンヒル教会)



バプテスマ式 (p3「証し」参照)



遠藤さん
アロママッサージ



台湾チームと仙台港南「マナの会」



C4 フラダンス in 七ヶ浜

震災後の5年を振り返り

あの震災から5年が経ちました。

私のパソコンに入っている、3.11以降の写真を振り返ってみると、実に多くの方々がボランティア活動をするために来てくださったことがわかります。そして被災地に住む多くの人々が、皆様のご支援を受け取られたことがわ

かります。窓口として私たちも多くの励ましをいただくことができました。改めまして、過去5年間における皆様のご支援とご協力に心よりの感謝を申し上げます。

ホープみやぎは教会主体の支援活動であり、教会は「キリストの体」と呼ばれています。この5年間私たちが被災地においてしてきたことは、まさしく「キリスト」の手足と

なり多くの方々に仕えることでした。それを通して「神は愛です」という言葉が具体的に、被災地に現されました。そして、その中からイエス・キリストを救い主として受け入れて、永遠の希望を受け取られた方々も多数おられること、これは私たちにとっては、困難の中での喜びです。

私たちの教会では「生きることは宣教」と学んできましたので、当初から宣教活動と支援活動を分けることはしませんでした。私たちの支援活動の動機は「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」、「泣くものと一緒に泣きなさい」、そして「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい」という聖書のご命令に基づくものでした。

もちろん当初は、代表である私が勘違いをしてヒロイズムに陥ったり、働きの大きさを誇ること、ふさわしいコミュニケーションをとらなかったことなど多々ありました。その点では、多くの支援者に不快な思いを与えてしまったことを今でも深く後悔しております。この場でお詫びいたします。しかしそのような人間の弱さの中でも、神の恵みと憐れみによって、キリストの体である教会は「出て行き」、この5年間で多くの人々に仕えることができたことは本当に幸いでした。

現在私たちが関わっている被災地においては、仮設住宅に住んでおられたほとんどの方々が「復興公営住宅」や「高台移転」による新しい住居に移られておられます。新しい場所では非常に寂しい思いをされている方々も多いのですが、私たちは散らされた皆さんが集まれるイベントを考えて、定期的に開催していくつもりです。先日、ある復興公営住宅の集会場で行われた、初めてのイベントには30名ほどの方々が集まりました。集まられた皆さんが、新しい場所で新しい関わりを築ききっかけ作りの場を提供できたことは幸いでした。

これまでホープみやぎの事務兼コーディネーターとして働いてきてくださった高橋寛実さんが、6年目も残ってくださることになりました。活動先の一つである七ヶ浜ではホープみやぎの「顔」となって多くの人々の励ましとなっています。新年度のために、彼女のサポートをしてくださる方を募集しております。ぜひ、ご協力いただければ幸いです。

復興支援の働きを通して「キリストの手足」である教会が、地域支援を通して、人々の具体的な必要に答えることが宣教の一部分であると改めて教えられました。です

から塩釜教会では、新しくフードバンク専門の NPO 法人「いのちのパン」を立ち上げて、復興支援が終わった後も、息長く地域支援活動を続けていけるような、道備えをしています。フードバンクとは、食べ物を企業等から集めて、生活困窮者の方々にそれをお配りする活動のことです。この活動のためにも、ご支援をしてくださる方々を募集しております。こちらもぜひご協力いただければ幸いです。新しい年度も宜しく願いいたします。

(ホープみやぎ代表 大友幸証)

「家の教会」ニュース

・亶理地区(向後夫妻より)

ハレルヤ、主の御名を賛美します。皆さんのお祈りと支援に支えられて、震災以来仮設イベントやフードバンクで関わりを続けてきた G さんが9月にバプテスマの恵みに預かりました。11月初め仮設から町営住宅に移り、我が家にも更に近くなり行動を共にしております。震災以来私たちの関係では4人目の受洗者です。12月はクリスマスイベントが目白押し、滝山教会チームによるクリスマスフラワーアレンジメント、林宣教師と台湾チームによる台湾料理の炊き出し、通常のシオンの会や主日礼拝の他にキッズクリスマス会、クリスマス賛美礼拝と祝会、仙南地区森祐理さんのクリスマスコンサート、ファミリークリスマスなど、その他にクリスマスプレゼントやフードバンクの配布、諸集会の案内チラシ配布等、まさにかき入れ時でした。仮設入居者のほとんどの方は復興住宅や戸建に、自宅再建にと移られましたがバラバラになった淋しさもあり、案内をすれば来て下さる方が多いです。ただ高齢で足の確保がないと来られない方が多く送迎付きです。仮設集会所での使用も3月までとなりそうなので、次の集まる場所の確保もしていかなければなりません。お祈り下さい。また4月から、東京基督教大学をこの春卒業された李ジョンミ師が亶理でご奉仕して下さるとのこと、準備を進めております。諸準備住居、車、経済的な満ち、健康のためにお祈り下さい。今までは専ら種蒔きが大半でしたがこれからは、いよいよ刈り取りのときが来ていると信じます。ぜひ実を結ばせることができるように更なるお祈り宜しくお願いします。

・仙台港南地区(大友恒雄夫妻より)

大震災から5年が経ちますが支援活動を通して福音宣教が前進していることを全知全能なる神に感謝しま

す。まずフードバンクの働きを通して傾聴を続けた T 老夫婦に書き込み式聖書のことばにて福音をお伝えしています。また一人暮らしの M さんとも同じテキストで2月から始めました。

月1回実施しているイベントに必ず参加していた W さんとはようやく2月から学びがスタートしました。国内外の諸教会の奉仕によって農作業の手伝いをし、温泉にも行ったりして私たち夫婦が長い期間寄り添い続けたトレーラーハウスで農作業を再開した O さん夫婦と一緒に3月13日にバプテスマを受けました。このようにチームワークとネットワークによって外に出て行くソーシャルミニストリーの大切さと必要性和恵みを私たちは体験しています。

さて私たちの自宅であり宣教拠点である現在地に導かれて間もなく2年。ごく周辺の方からのお誘いで始めたラジオ体操仲間が「お茶っ子たいむ」「ハンドクラフト」そして「クリスマス礼拝」「ハートフル港南礼拝」に5から6人で継続来会しています。「家の教会」のさらなる前進のためお祈りとご支援これからも宜しくお願い致します。

バプテスマの証し（巨理町 G さん）

私がキリスト教に始めてであったのは25歳ごろです。そのころ私は東京神田神保町の英会話教室に通い、英会話を教えて下さったのがアイルランド人の宣教師でした。その後彼は急に「国に帰る」と私に言いましたが何故か訳を言わず帰国してしまいました。その時に使用したテキストが聖書と英会話のテキストでした。これが最初の聖書との出会いです。クリスマスにミサにも参加させて頂き赤坂の教会の厳かな雰囲気と心が震えるほどの感動を覚えたものです。また「十戒」や「ベンハー」などの映画を観ては感動しました。

今回 3.11 の大震災により仮設でボランティアの方々との出会いや、向後さんご夫妻との出会いがあったことで聖書を読むようになり、心が落ち着いてきました。また、自分で気づかずに犯してきた罪も理解できるようになりました。それをあがなって下さるイエスさまありがとうございます。そのイエスさまを信じてバプテスマを受けたいと思いました。それから向後さんご夫妻と一緒に学ぶことになり、益々その思いが強くなりました。これからバプテスマを受けてみなさまと一緒に神の家族の一員にならせて下さい。

「信じてバプテスマを受けるものは救われます。しかし、信じないものは罪に定められます。」(マルコ 16:16)

「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦して頂くために、イエスキリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。なぜなら、この約束は、あなた方と、その子どもたち、ならびにすべての遠くにいる人々、すなわち、私たちの神である主がお召しになる人々に与えられているからです。」(使徒 2:38-39)

(2015.9.6 多賀城エクレシアにてバプテスマ)

地域との関わり

・桜木地区(多賀城市)

「桜木すまいる」を続けています。火曜日夕方ボランティアさんや有志の方々と公園に顔出して地域の子どもたちと遊んでいます。この関わりを通して教会の1泊お泊まり会やイベントに桜木からたくさんの子どもたちが参加しました。桜木クリスマス会も地域からたくさんの子どもたちが集まりクリスマスのメッセージをお届けできました。

・七ヶ浜町

昨年末仮設住宅からほとんどの方が新しい住まいに引っ越されました。新しい場所で体調を崩され入院される方が増えています。仮設住宅での生活や高齢での引っ越しは身体にも大きなストレスがかかっているようです。公営住宅に移られた方々で一人暮らしをされている方や、昨年までの仮設イベントで顔なじみになったみなさまに訪問を続けています。この貴重なご縁を大切に新しい場所でも続けて応援していきたいと思っています。七ヶ浜菅蒲田地区の公営住宅集会所では定期的にお茶のみ会を始めました。新たに花淵公営住宅でもお茶のみ会を始めるために区長さんにご挨拶に伺ってきたところ。新しい住まいで生活に慣れてきたけれど、生きる目的を見つけられずに気落ちしている方々が少なくありません。お茶のみ会を定期的に関いて共に時間を過ごし寄り添い、お話を伺う傾聴ボランティア活動を続けていきます。「ひとりりで淋しい」「夜は眠れない」など、心の底からの叫びが聞こえてきます。いつも一緒に下さるイエスさまをおひとりおひとりご紹介することが私たちの使命です。

「ホープみやぎ」スタッフより

4月からもう1年ホープみやぎでお仕えしていくことを決

めました。昨年まで顔出しをしながら築いて来た被災者の方々との良い関係をこれからも大事にしていきたい、祝福をお届けするためにお役に立てるのならばぜひ用いて下さい！とそんな思いでの決断でした。仮設住宅から復興住宅に移られた方に顔出しを続ける中で少しずつ新しいニーズが見えて来るようになりました。町の復興公営住宅には、一人でお住まいの高齢の方がたくさんおられます。昨年ご主人を亡くされて公営住宅に一人暮らしされているご夫人は、「介護看本の疲れが出てきて身体が痛い」「こんなはずじゃなかった」と話していましたが、最近だんだん笑顔や元気が戻ってきたようで訪問を続けていてよかったなと感謝しています。お茶のみ会を定期的に開いたり、顔出しを続けたりすることがその地域にお住まいの方々が元気になり、つながるきっかけとなればと願っています。小さなことにでも心をこめてお仕えしていきたいです。活動としては、お茶のみ会の傾聴や農作業のお手伝いをして下さる国内外からのボランティアさんの受け入れも続けます。私事ですが、もう1年ホープみやぎでお仕えすることを決め、毎月の生活費の必要のために具体的にサポートして下さる方を募集しています。この働きを続けるためにぜひご支援下さい。（高橋寛実）

NPO 法人「いのちのパン」について

東日本大震災の支援活動としてはじめられたホープみやぎは、多くのクリスチャンや教会からサポートを頂きながら、活動が進められてきました。震災後3年が過ぎたころ台湾からの宣教師の勧めがあり、手探りでフードバンク活動を始めました。ホープみやぎの復興支援活動はやがて終了することを踏まえ、フードバンクを独立した活動として継続できる組織を造ることが提案され、昨年8月末にNPO法人格を取得いたしました。

「いのちのパン」定款3条には次のように記されています。「この法人は、キリスト教精神に基づいて、社会の中で恵まれない環境にある方に対して、生活支援および定期的な交流に関する事業を通して、生活の向上に向けた励ましを行い、明るく豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」教会活動の大きな目的は、福音宣教です。教会は教会員だけの組織ではなく、地域に奉仕する使命が与えられています。NPO法人には、宗教活動が禁止されていますがキリスト教精神に基づく社会

活動には制限がありません。地域に奉仕することは、広い意味において福音宣教の基礎であり、将来におけるバイバルの幻を与えるでしょう。このような意味においてフードバンクが果たす役割は大きいと信じています。そしてこの活動が他の諸教会へと広がっていけば、この幻は、ますます現実味を帯びてくるでしょう。今後とも、皆様のご支援とご協力が必要です。

具体的に二つの事を皆様をお願いしております。一つは賛助会員になって頂く事です。賛助会員の規定は「この法人の事業を賛助するために入会した個人及び団体」となっております。個人の場合、入会金無しで年会費は一口5,000円。団体の場合、入会金は5,000円で年会費は一口10,000円です。賛助会員の方々には定期的な報告書を送らせて頂きます。

二つ目は、食料品をご提供して頂く事です。食料品は賞味期限が最低1-2週間残っているものをお願いしております。お近くであればこちらから受け取りに伺うこともできますが、ご遠方の方であればご送付して頂くようお願い致します。（「いのちのパン」理事長 菅原陸郎）

「いのちのパン」食料品/日用品支援のお願い

現在集めている食料品/日用品は以下の通りです。

- 1.食料品:米、麺類、インスタント食品、缶詰、お菓子など
 - 2.調味料:味噌、醤油、砂糖、塩、ふりかけ、お茶漬け等
 - 3.生活用品:ティッシュ、トイレトペーパー、洗剤、清掃用具
 - 4.飲み物:コーヒー、お茶(インスタントも歓迎)、ジュース等
- 皆さまから送っていただくご支援品は、2016年度以降NPO法人「いのちのパン」預かりとなり、そこから「ホープみやぎ」の活動へ支給されるという形になります。被災者とのつながり継続や生活困窮者への支援に使われます。オンラインショップ(アスクル、アマゾン)などで注文し、こちら宛に送っていただくと皆様の郵送のお手間が省けます。ご活用ください。

送り先: 〒985-0831 宮城県多賀城市笠神 2-11-45
「いのちのパン」事務所 **電話:** 022(362)7468

Facebook: inochi-no-pan **Web:** www.breadoflife.jp

賛助会員費/寄付金 入金先:

七十七銀行(多賀城支店)

店コード 304 口座番号:5791821

※送金頂いたあとご一報いただければ幸いです。

あなたも「ホープみやぎファミリー」に加わりませんか？

「ホープみやぎ」は東日本大震災直後から、近隣の地域（仙台市、多賀城市、亶理町、七ヶ浜町、東松島市、石巻市）を中心に支援活動を行っております。ぜひ「ホープみやぎファミリー」に加わっていただき、継続的なご支援とご協力をいただければ幸いです。私たちがファミリーにお願いしている支援は、①祈ってくださること②ボランティアとして参加してくださること③支援品を送ってくださること④献金してくださることです。

現在のボランティアの内容としては、お茶のみ会などで傾聴したり、皆様の特技（マッサージ、体操、お料理教室、クラフトなど）を用いて被災者の方々に仕えることです。ぜひ興味のある方はご一報ください。

ボランティア・ホープハウス宿泊のお申込みについて

ホープハウス宿泊のお申込みは、FAX、Eメールでお待ちしております。①氏名（ボランティアする方すべて）②人数（男女比）③日程④ホープハウス使用の有無⑤ボランティアできる内容（例：肉体労働、音楽、手芸など）⑥連絡先をお知らせください。

ラジオ番組「ゴスペルの力」

被災地でのクリスチャンラジオ、好評放送中です！

宮城県の放送

仙台 FM76.2 月～金 午後2時、午後9時

塩釜 FM78.1 月～金 午後3時、午後9時30分

過去のメッセージはこちらから www.twr-jp.com

お願い

「ホープみやぎ」ニュースレターは2ヶ国語で発行され、Eメールでお送りすることもできます。ご希望の方がいらっしゃれば、contact@hopemiyagi.org までご連絡下さいますようお願いいたします。また経費削減のためニュースレターの発送をEメールに切り替えることにご協力いただける方はご連絡ください。

祈りの課題

1. 仮設住宅から災害公営住宅に移られた皆さんが新しい環境で良いコミュニティーに出会えるように。ホープみやぎも各地域でコミュニティー作りのお手伝いができるように。毎月のお茶のみ会が住民の方の良い仲間との出会いの機会となるように。

2. 励ましを必要としている一人暮らしの方々への訪問が祝福されイエス様の愛と希望をお届けできるように。
3. ホープみやぎの働きを通してイエスさまに出会う方々が起こされていくように。
4. フードバンク NPO 法人「いのちのパン」の働きを通して、必要がある多くの方々に食料品と希望をお届けできるように。食料品を提供して下さる企業に出会うことができるように。
5. 亶理、仙台港南、七ヶ浜、石巻、多賀城各地で活動しているスタッフの健康が支えられるように。ホープみやぎの働きを続けて行くための必要が満たされるように。特にコーディネーターの高橋寛実の毎月のサポートが満たされるように。
6. 大友幸一牧師が代表を務める「宮城宣教ネットワーク」の働きが祝福されて各被災地に教会が生まれていくように。
7. 働き人が続けて与えられていくように。

連絡先

【ホープみやぎ】（塩釜聖書バプテスト教会復興支援プロジェクト）

代表 大友幸証（おおともゆきまさ）

所在地：985-0831 宮城県多賀城市笠神 2-11-45

TEL:022-362-7468 FAX:022-362-7497

連絡先：contact@hopemiyagi.org

ホームページ：http://www.hopemiyagi.org

*Facebook は「hopemiyagi」

写真など、二ヶ国語でご覧になれます。

支援金送金：

郵便振替の場合

02280-8-7239

塩釜聖書バプテスト教会

※通信欄に「復興支援」と

ご記入下さい。

銀行振込の場合

・ゆうちょ銀行

二二九店(229) 当座0007239

塩釜聖書バプテスト教会

・七十七銀行(下馬支店)

店コード307 口座番号9062726

塩釜聖書バプテスト教会

代表役員 大友幸一

支援金の使い道：

支援品の購入（食料品、衣料品、生活用品など）、支援活動に必要な備品の購入、被災者への義援金、キッズミニストリー、専属スタッフへの謝礼、ボランティアセンター管理費、交通費、その他復興支援活動全般のため。必要な場合、領収書を発行致します。

支援・協力を受けたみなさま (2015年7月-12月まで)

Thank you for your supports! (July - December 2015)

個人名 (日本国内) Individuals in Japan
上野哲志・望/遠藤茂雄・清子/大場孝子/金子智恵/小西優子/小林高德・宮子/小松兆子/金野鈴道/金野正樹/坂本みちる /須賀庸子/鈴木雅子/高石しのぶ/高澤健/田中牧子/塚本裕子/中林撰/前田秀文/松江亨子/山口俊郎/和知京子/匿名

団体名 (日本国内) Churches and Organization in Japan
JECA 西日本地区災害支援室/アクアゆめくらぶ仮設サポートセンター/朝顔教会/アジアアウトリーチジャパン/アジアアクセス/ 渥美キリスト教会/大阪城東福音教会/大阪朝禱会/勝田聖書教会/キョートキョ鎌田醤油株式会社/久留米キリスト教会/ 興戸キリスト教会/ゴスペルファミリー/サンタプロジェクト九州/シオン・キリスト教団蒲田教会/夙川聖書教会/湘南のぞみキリスト教会/ 昭和町キリスト教会/精華キリスト教会/仙台愛の教会/仙台福音キリスト教会/セント国際宣教団/高松シオン教会/滝山聖書バプテスト教会/ 日本国際飢餓対策機構/保守バプテスト津田沼教会/保守バプテスト同盟/保守バプテスト日本宣教団/宮城宣教ネットワーク/ 門戸聖書教会/ヤーンアライブセヶ浜/和歌山福音教会和歌山チャールズ

海外 Supporters from Overseas
Asian Access / Christ Centered Community Church / Crossway Church / Elms, Yumiko / Grau, Karlheinz and Brigit / Morgan Hill Bible Church / Ongole, Pavan / Sasamori, Keach / SEND /シアトル栄光教会/林婷, 施秀幸,許秋蘭(石碑禮拜堂)/ 李慧敏,楊阿香(魚池禮拜堂)

(敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

We appreciate your supports very much.

※海外からの送金の場合は「ホープみやぎ」ホームページをご覧ください。

ホープみやぎ 会計報告 2015年度 (2016.2月末日現在)

収入分類	2015 実績	
献金	¥4,598,493	(2015.4~2016.2)
繰越収入	¥5,614,750	2014 繰越
収入計	¥10,213,243	全収入

支出分類	2015 実績	
人件費	¥3,671,856	
活動費	¥3,180,749	被災者支援含む
事務費	¥326,777	
ボランティアセンター	¥204,407	維持費
予備費	¥24,798	
支出計	¥7,408,587	
繰越支出	¥2,804,656	次月繰越

単年度収入+	4,598,493
単年度支出-	7,408,587
単年度収支差	-2,810,094
前年度繰越	5,614,750
次年度繰越	2,804,656